

JFEシビル 中国地区のシステム建築 16年度販売5億円計画

【広島】JFEシビルは2016年度、中国地区の「メタルビル」などシステム建築関連で売上高5億円(材料販売のみ)を計画する。17年度にはワーク工事の受注も含め、10億円の売り上げ達成を目指す。

中国地区では16年度、一定の建築需要が見込まれるものの、先行きには不透明感が強い。耐震ブレースなど耐震・制振デバイスに

ついて、耐震補強が進んだことで需要は減少傾向にある。また建設業界では現場監督や職人といった人手不足の影響が依然として強く、着工の遅れなどが起きている。同社はこうした中、工期の短縮化やシンプルな設計による省人化などシステム建築のメリットを生かし、受注を増やしていきたい考えだ。同社のシステム建築「メタルビル」は独自の基礎工法である「いちいち基礎工法」に対応。杭基礎が必要な軟弱地盤に対し、基礎・杭・柱を一体化させた工法で、従来工法に比べ、短工期化やコスト削減で大きなメリットを持つ。こうした独自技術の強みもPRし、市場での存在感を高めていく方針。

同社の大きな力となっているのが、中国地区の取引先で組織するJFE中国システム建築協力会だ。15年4月からの1年間で3社増加し、現在、会員数は28社。16年度は30社を目標に会員の拡大を図る。会員各社と連携し受注増につなげる。